

SDGsと大阪

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和3年4月21日

1. SDGsとは
2. なぜSDGs
3. SDGsと大阪・関西万博
4. みんなで取り組もう！SDGs

1. SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

- 2015年9月国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載。
- **2030年までの国際目標**。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール(目標)**、**169のターゲット**から構成。



(出典) 国連広報センター

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

各ゴールの課題《例》

(どんな問題が発生しているのか)

目標 2 : 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

2 飢餓を
ゼロに



世界



日本



目標4: すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

4 質の高い教育を
みんなに



世界



紛争によって破壊された学校の教室

日本



経済的な理由で、進学をすることができない・学校に行くことができない。

目標15: 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



世界



日本



(間伐等を適切に実施している森林)

- 明るい
- 地表に植物が生えている
- 根がみえない
- 木が太くてまっすぐ



(間伐等を適切に実施していない森林)

- 暗い
- 地表に植物が生えていない
- 根がむきだし
- 木が細くて曲がっている

出典: 林野庁

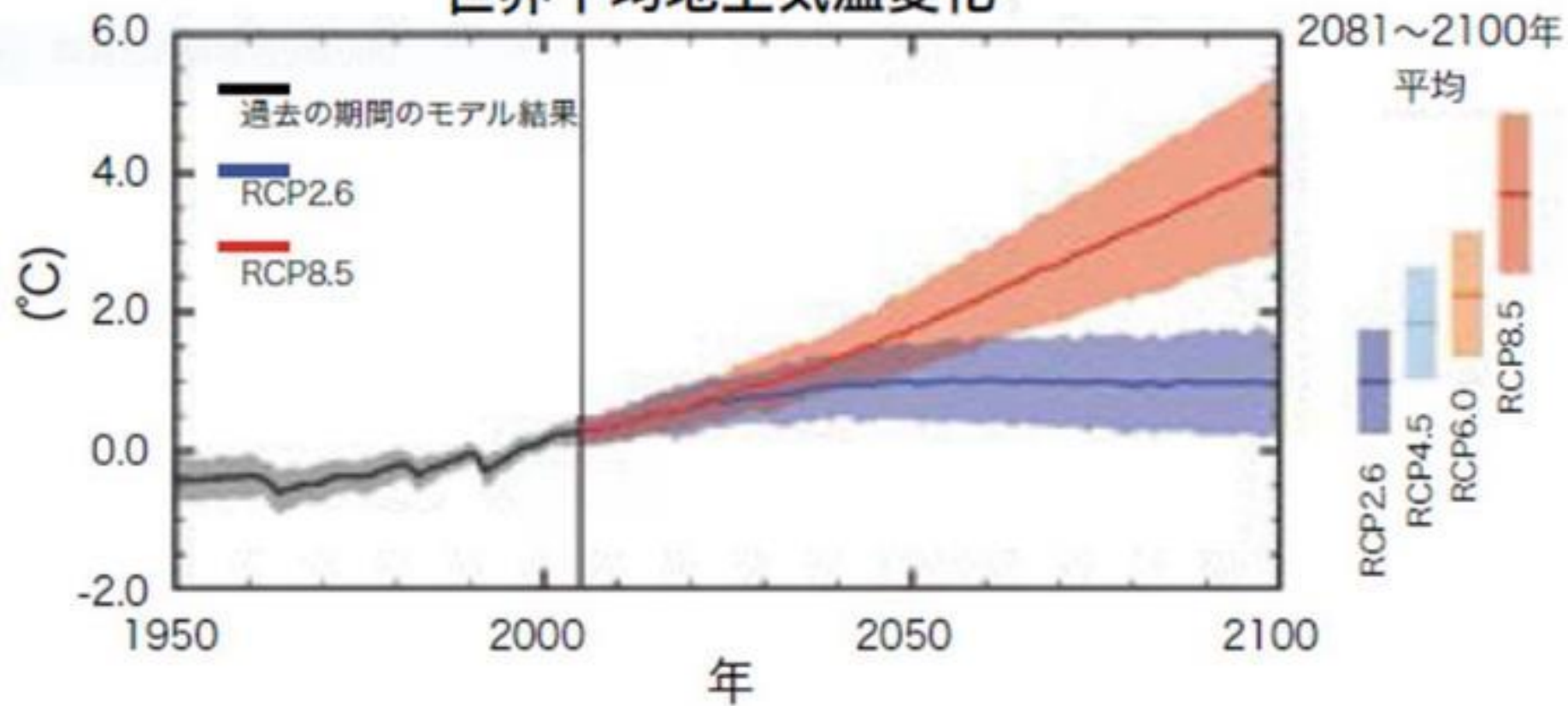
2. なぜSDGs

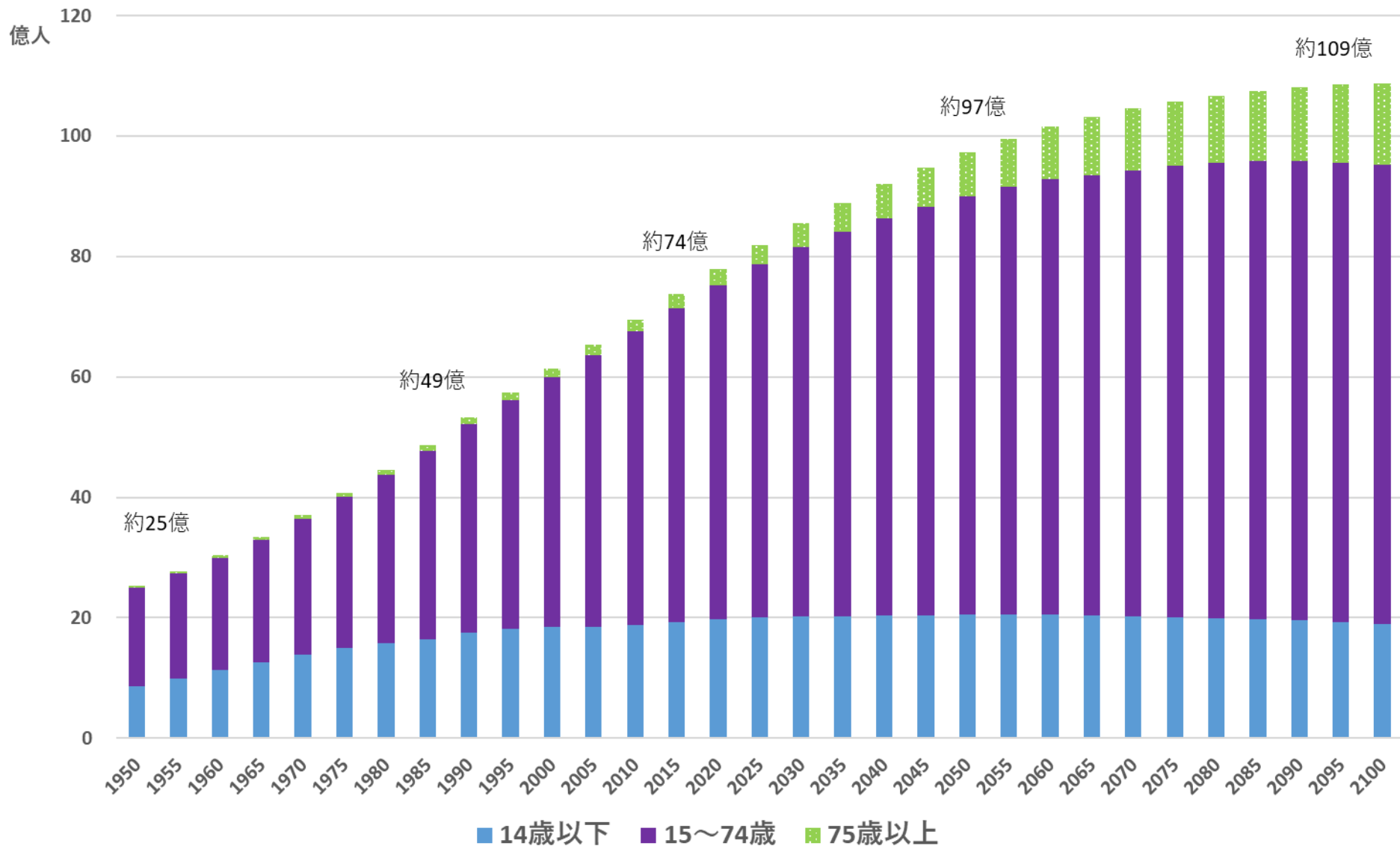
持続可能とは

将来世代のニーズを損なうことなく

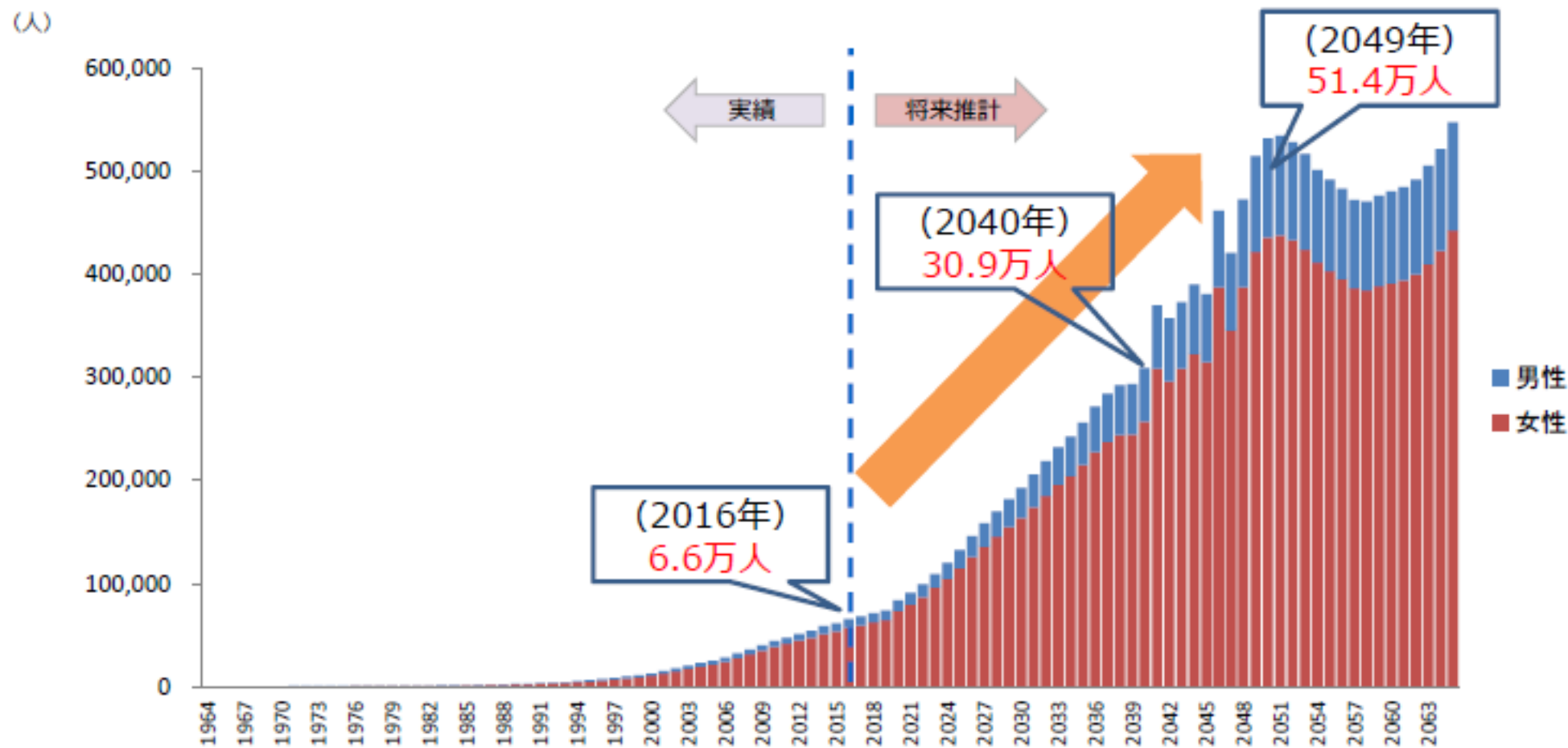
現在の世代のニーズを満たすこと

世界平均地上気温変化





100歳以上高齢者の年次推移



(出所) 厚生労働省「男女別百歳以上高齢者数の年次推移」「国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」

SDGsが達成できなかつたら

地球温暖化の進行

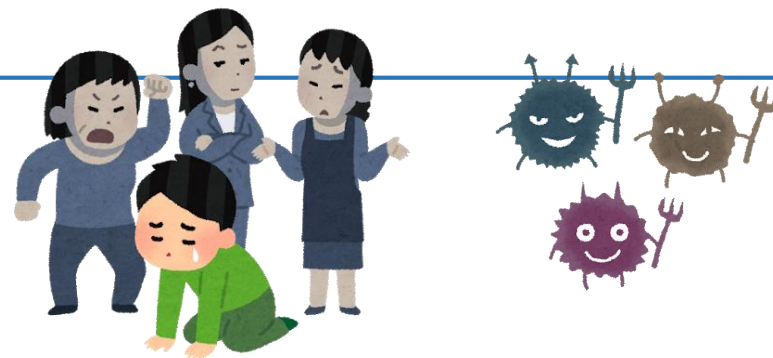
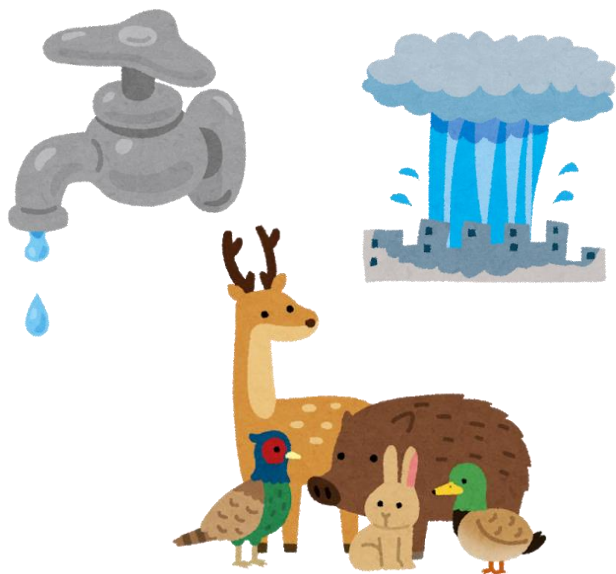
エネルギー問題の深刻化

自然災害の増加

水問題の深刻化

生物多様性の喪失

気候変動の激化



貧困

感染症の拡大

教育機会の不平等

人口爆発

少子高齢化

様々な差別とハラスメント

紛争の長期化・複雑化

経済危機の頻発

若年失業率の高さ

社会福祉財源の不足

経済格差の拡大





Seventieth session
Agenda items 15 and 106

Integrated and coordinated implementation of and follow-up to the outcome of the major United Nations conference and summit in the economic, social and related fields

Follow-up to the outcome of the Millennium Summit

Draft resolution referred to the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda by the General Assembly at its sixty-sixth session

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

The General Assembly

Adopts the following outcome document of the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda:

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

Preamble

This Agenda is a plan of action for people, planet and prosperity. It also seeks to strengthen universal peace in larger freedom. We recognize that eradicating poverty in all its forms and dimensions, including extreme poverty, is the greatest global challenge and an indispensable requirement for sustainable development.

All countries and all stakeholders, acting in collaborative partnership, will implement this plan. We are resolved to free the human race from the tyranny of poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take the bold and transformative steps which are urgently needed to shift the world on to a sustainable and resilient path. As we embark on this collective journey, we pledge that no one will be left behind.

The 17 Sustainable Development Goals and 169 targets which we are announcing today demonstrate the scale and ambition of this new universal Agenda. They seek to build on the Millennium Development Goals and complete what they did not achieve. They seek to realize the human rights of all and to achieve gender

15-19900 (E) 220915

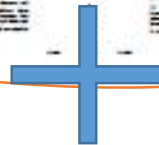
Please recycle



2030アジェンダ

本文

35ページ、91段落



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

- ①SDGsは世界共通の言語
- ②経済、社会、環境の統合的解決
- ③誰一人取り残さない
- ④横串の視点
- ⑤バックカスティング
- ⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

①SDGsは世界共通の言語

ポイント1

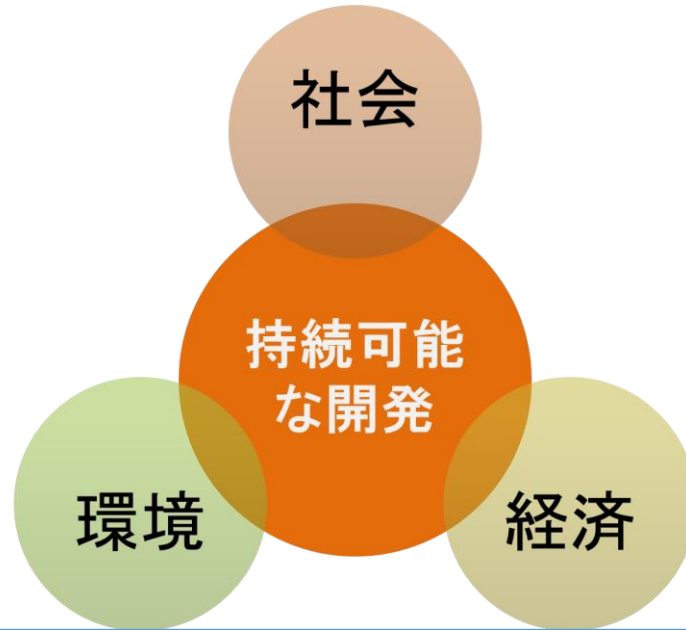
国連の全加盟国で合意。「誰も否定できない」明確な価値とゴールの提示。

ポイント2

17のゴールのアイコンは世界共通の言語。コミットしている社会課題を世界に宣誓。



② 経済、社会、環境の統合による課題解決と新しい価値の創造



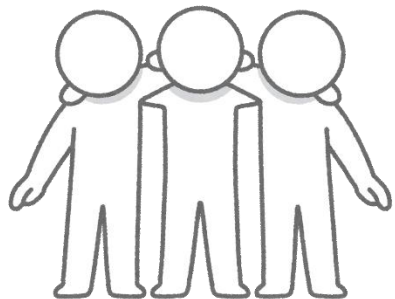
ポイント1：社会課題の併記

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。
(「より良い社会」というより高次のビジョンの提示)

ポイント2：経済的な視点の包摂

「持続可能性」≒「経済性の担保」⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。
(ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容)

③ 誰一人取り残さない



みんなで頑張る



社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

ポイント1：野心的（背伸び）

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

ポイント2：支えあいの精神

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（region）、国家、地方(local)、企業、教育機関、NPO/NGO、個人。

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

④横串の視点

(1)同時解決

あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる



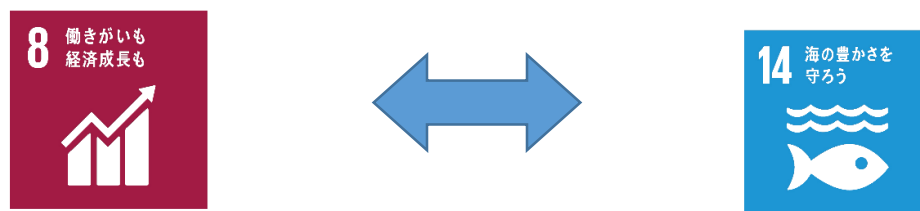
(2)インパクトのベクトルを変える

社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える



(3)トレードオフの考慮

社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する



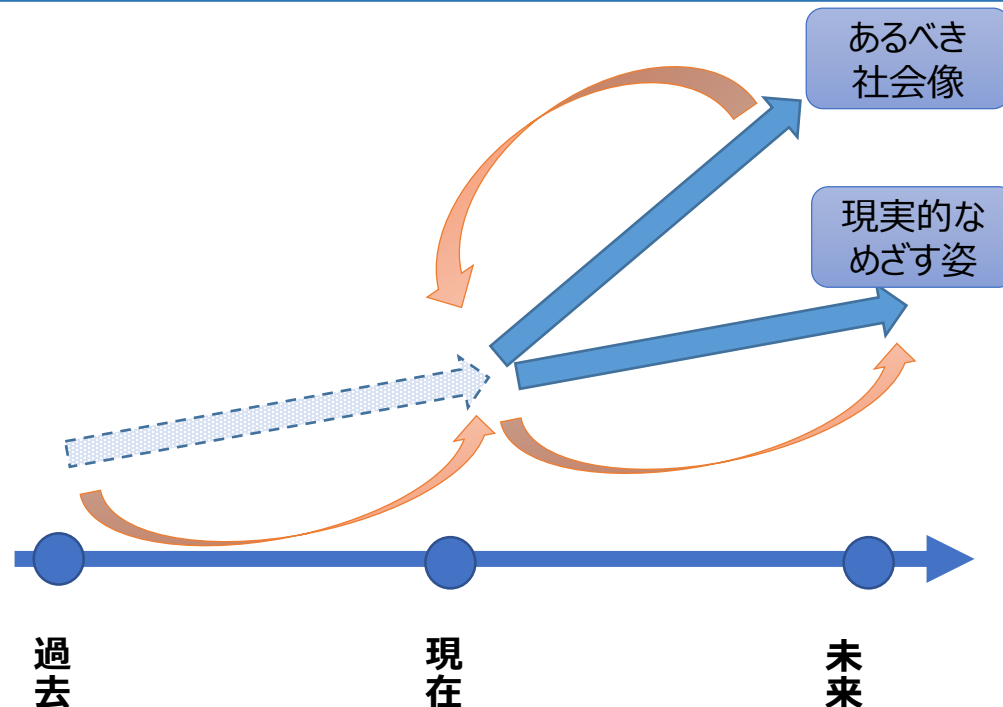
⑤ バックキャストイング

「バックキャストイング」

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャストイング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法



ポイント1：社会課題解決のイメージの变革

義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発

ポイント2：できない言い訳をしない

できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

ポイント1 : SDGsは2030年にあるべきゴールのみを提示 (⇔京都議定書等)

「健康のために走る」、「ラーメンの汁を飲み干す」、「トイレでも手を洗わない」

なんでもSDGs

ポイント2 : 世界の共通目標と、個人や地域の取組みがつながる

プロジェクトベースで、17ゴール・169のターゲットとのロジックを整理する

(例)

- ・「健康のために走る」→「交通機関を使用しないため石油の使用料が減る」(ゴール13)
- ・「ラーメンの汁を飲み干す」→「ラーメンの汁の廃棄の減少」→「持続可能な海洋資源の構築」(ゴール14)
※健康には悪い?
- ・「トイレで手を洗わない」→「水の節約」→「持続可能な水環境の整備」(ゴール6)
※不衛生では?

3. SDGsと大阪・関西万博

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

◆テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

“Designing Future Society for Our Lives”

◆開催期間：2025年4/13～10/13(184日間)

◆開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

◆入場者（想定）：約2,800万人

◆経済効果：約2兆円



万博会場イメージ



SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ 誰一人取り残さない
- ◆ 将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

開催時期

2025年

4. みんなで取り組もう！SDGs



大阪SDGs行動憲章



わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

1. かけがえのない“いのち”を大切に、地域社会や環境に配慮して行動します。
2. 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。
3. 人と人との出会い、つながりを大事にしなが、互いに学びあい協力して行動します。

私のSDGs宣言プロジェクト

- ◆ 「大阪SDGs行動憲章」の趣旨に沿って、皆さんがチャレンジするSDGs達成に向けた取組みを宣言していただくプロジェクトです。
- ◆ 皆さんの宣言は、大阪府ホームページなどで広く発信し、オール大阪でSDGs達成の機運を醸成していきたいと考えています。
- ◆ 多くの方にSDGsの取組みの輪を広げるため、ぜひ皆さんも参加してください。

対象

府民、府内の企業・団体など

宣言内容

SDGsの達成に向けた取組み + 関連するゴール

参加方法

大阪府ホームページ
大阪府SDGs【公式】Twitter

詳しくは、府HPをご覧ください

大阪府 SDGs



取組み宣言の例

12

つくる責任
つかう責任



冷蔵庫の中を把握して、
必要な分だけ買い足す



14

海の豊かさを
守ろう



エコバッグやマイボトル、
マイ容器を使う



8

働きがいも
経済成長も



誰もが働きやすい
職場環境を作る



ご清聴ありがとうございました。